

その五 親子竹

観世寺の宝物殿に箱に入れて保存してありますが、一般の人々も観覧することが出来ます。これは二本松市字北向地内にある生駒地藏尊の傍に生えたものを、掘りとつたものです。一本の竹から三本に分かれて生長した、親子の姿に見える珍しい竹です。

その六 親子杉

親子竹を掘ったあとに、一本の杉苗を植えました。その杉が生長して、太い大きな二本の幹になりました。ところがその二本の幹の間から、さらに一本小さな杉が生長し、「親子の杉」と呼ばれています。

その七 片葉葦

観世寺の後方五〇〇メートルほどの水田の中に、約二〇平方メートルの小池があり、その周辺には菖蒲や片葉の葦が生えています。

前九年の役の折り、源義家が弓矢を放ち、つきささった所より水が湧き出して、池になったといわれております。その時生えた葦は、弓矢に片方の葉が切り落とされ、その後ここに生える葦は片方だけ葉がのびて、片葉葦といわれるようになったという事です。

